

## 事例5 探究的な学習【縦割りによる総合】

### 学年・学級の枠を外した学習集団を分担して指導した事例

○学年 第1・2・3学年

○探究課題 寄居町の再開発から学ぶまちづくりとそこに暮らす人々（まちづくり）

○主な事例のポイント

- ①学年・学級の枠を外して学習集団を分担し、縦割りの「一斉総合（※）」を立ち上げる。
- ②生徒たちが主体となり、自分たちで探究すべきことを明らかにする。
- ③校内報告会により各ゼミの内容を知り、探究を深める。

※本校では、学年・学級の枠を外した学習集団での総合的な学習の時間を「一斉総合」と呼んでいる。また、従来型の授業を「学年総合」と呼んでいる。

#### 1 単元名 まちづくり 男衾・寄居町のまちづくり

#### 2 単元の目標

男衾・寄居町のまちづくりに関する探究活動を通して、地域の特性に気づき、地域の発展について考えるとともに、地域の活性化に貢献しようとする。

#### 3 生徒の実態（略）

#### 4 教材について

探究課題は「寄居町の再開発から学ぶまちづくりとそこに暮らす人々」である。

本単元は、地域の特性を生かした住みよいまちを中学生の視点から考えていく。寄居町では、現在寄居駅付近を再開発したり、空き家を利用したまちづくりが計画的に行われたりするなど、積極的なまちづくりが展開されている。一方で、住民の高齢化も進んでおり、町の調査では、2045年には約2人に1人が65歳以上の高齢者になるという数値も出ている。また、緑が多く自然にあふれた町ではあるが、町民アンケートの「公園・緑地の維持管理」の項目調査では、町民の満足度は11%と低く、魅力ある公園づくりなどの課題も多く残っている。

本実践では、自分たちが住んでいる寄居町と自分たちの地区である男衾の特徴を調べていくことから探究していく。その中から町の課題を考えていき、専門家から話を聞いたり、取材したりすることなどを通して、自分たちができるまちづくりを見いだせるようにする。

寄居町に暮らす住民の一人として、未来の寄居町の様子を思い描き、意欲的にまちづくりに参加するきっかけとなるよう、行政等と連携しながら探究活動を進めていきたい。

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の特徴を理解し、地域が発展することの目的や意味を見いだしている。 ②まちづくりに関して、収集した情報と実体験に基づくよりよい暮らしとを関連付けている。 ③まちづくりの学習を通して、地域の特性を生かしたまちづくりと現在の生活との結び付きに気付いている。	①男衾・寄居町のまちづくりについて、疑問や興味を持ち、課題を発見し、設定している。 ②男衾・寄居町のまちづくりに関する情報を、目的に応じて選択・収集している。 ③男衾・寄居町のまちづくりについて得た情報を整理・分析し、活用している。 ④男衾・寄居町のまちづくりについて考えをまとめ、わかりやすく工夫して発表することができる。	①自身の活動を振り返りながら、探究的に取り組もうとしている。 ②地域住民や行政機関など様々な人々に積極的に関わりながら、課題解決に協働して取り組もうとしている。 ③お互いの考えを交流する学び合いによって、視野を広げ自己や町の未来につなげようとしている。

6 単元の指導計画と評価計画 (35 時間)

※「課題」：課題の設定 「情報」：情報の収集 「整理」：整理・分析 「表現」：まとめ・表現

過程	○学習活動 ・生徒の思考	・指導上の留意点 ○評価 (評価方法)
	※一斉総合の立ち上げ	事例のポイント① 実践例1を参照
課題	○オリエンテーションをする。 ・自分たちの住んでいる地域の特徴ってなんだろう ○課題を設定する。(1) <b>課題① 男衾・寄居町について調べよう</b>	・男衾や寄居町の様子を振り返り、自分の視点で意見を複数出せるよう声掛けをする。 ・自分の住む地域に足りないもの、理想のまちについて考えることができるようにする。
情報	○課題① 男衾・寄居町について調べよう ・ウェブングすると、自分の考えが広がるのが実感できるよ。 ・先輩(3年生)の考えはさすがだな。	編P174 指導計画作成の留意事項(2) ・異なる学年で意図的にグループを組むことで、様々な視点・角度からの意見をお互いに共有できるようにする。 ・コンセプトマップ(ウェブング)や友人の意見からまちづくりに興味をもたせ、目標を設定することができるようにする。
情報	○男衾・寄居町の特徴を調べる。(2) ・観光地として有名じゃないよね。 ・緑が多いから、自然を生かした観光スポットがあるかも。 ・人口の推移はどうなっているかな。 ・町のホームページを見てみると何か分かるかも。 ・町民の満足度アンケートっていうのを見つけたよ。	○ <b>知・技① 思・判・表①</b> (観察・ノート) ・マインドマップをもとに自分の考える「住みよいまち」「理想のまち」にするために必要なことを考えることができるようにする。 ・自分たちの体験からだけでなく、一人一台のICT端末も活用しながら、ネットの情報も収集できるようにする。 ・様々な情報を収集し視野を広げ、自分や町の未来について考えることができるようにする。
整理	○体験したことや聞いたこと、見たことを生かして地域の特徴を整理する。(2) ・水辺の環境、自然、景観はこの地区の自慢になっているね。 ・中心市街地への不満も多いみたい。 ・20年後、町が栄えて人口が増えるにはどうすればいいだろう。	○ <b>態①</b> (観察・ノート) ・男衾・寄居町について収集した情報を整理・分析し、活用しながら仮説を立てることができるようにする。 ・専門的な知識を得るために必要なことは何か考えることができるようにする。
表現	○駅前広場の名前を考え応募する。(1) ・みんなに愛される、親しみの持てる名前がいいね。 ・寄居ならではの名称って何かな。 ・僕たちができるまちづくりって何があるだろう。	○ <b>思・判・表③</b> (ノート)  ・応募資格に則り、他者の権利を侵害しないものを自分の言葉で考えることができるようにする。 ・応募する上ではできるだけ個人で考えることが望ましいが、今学習においてはグループで考えてもよい。 ・収集した情報と実体験に基づくよりよい暮らしとを関連付け、地域の活性化につながる名前を考えることができるようにする。 ○ <b>知・技②</b> (ワークシート)

<p>課題</p>	<p>○課題を設定する(1)</p> <p><b>課題② 自分たちができるまちづくりを考えよう</b></p>	<p>・男衾・寄居町のまちづくりについて、疑問や興味を持ち、課題を発見・設定できるようにする。</p> <p>○思・判・表① (観察・ノート)</p>
<p>情報</p>	<p>・いろいろ自分たちでも調べたけど、専門家に話を聞きたいな。</p> <p>○寄居町の「まちづくり」専門家に話を聞き、自分の課題を決める。(4)</p> <p>・魅力ある公園ってなんだろう。</p> <p>・町が管理している公園について分かった。</p> <p>・高齢者の割合がどんどん増えている。</p> <p>・町で運営するタクシー、『愛のりタクシー』というのがあるんだ。</p> <p>・どうすれば乗ってもらえるのかな。</p> <p>・まだまだ知らないことがたくさんあるね。</p> <p>・これを広めることが大切なんだ。</p>	<p>事例のポイント② 実践例2を参照</p> <p>編P174 指導計画作成の留意事項(4)</p> <p>・事前に質問を考えておくことで、一方的な講義にならないようにする。</p> <p>・専門家からの話を受け、町全体のニーズに沿って考える場合と、自分事に置き換えて考える場合があることを押さえておく。</p> <p>○思・判・表②③ (観察・ノート)</p> 
<p>情報整理</p>	<p>○寄居町の特産を知ってもらうためのキャラクターづくりをする(4)</p> <p>・寄居の特産のとろとろナスのキャラクターがいいかもしれない。</p> <p>・町の花のエキナセアやカタクリもいいね。</p> <p>○寄居町のポスターづくりをする(4)</p> <p>・知ってもらいたい観光スポットのポスターを作ろう。</p> <p>・雀宮公園もすごくキレイでおすすめだね。</p> <p>・自然も豊かで、ポスターにしたい。</p>  <p>○寄居町の新聞づくりをする(6)</p> <p>・キャラクターやポスターも新聞の中に入れられそうだね。</p> <p>・このお店にインタビューできるかな。</p> <p>・質問の内容をしっかりと考えよう。</p> 	<p>・他の市町村が作成したキャラクターを参考に、人を引き付けるキャラクターの特徴を自分なりに押さえることができるようにする。</p> <p>・以前調べた内容を生かすことができるようにする。</p> <p>・一人一台のICT端末に搭載されているアプリも活用しながら、作成に取り組むことができるようにする。</p> <p>○思・判・表②④ (観察・作品)</p> <p>・寄居町が今までどんなポスターを作成してきたのか調べることができるようにする。</p> <p>・写真などの転載に関して、著作権について指導する。</p> <p>・自分たちで写真を撮りに出掛ける際は、いつ、どこに、誰と行くのかなど、外出届を作成することができるようにする。</p> <p>○思・判・表②③ (観察・作品)</p> <p>・町が発行している情報紙を参考に、中学生の視点を入れた新聞を作成できるようにする。</p> <p>・文章や写真の転載に関して、著作権等について指導する。</p> <p>・インタビューをすることで、新たな「寄居の魅力」や「地域の人とのつながり」に気付けるようにする。</p> <p>・インタビューしてきた内容を整理し、新聞に載せる内容を取捨選択できるようにする。</p> <p>○態② (観察・作品)</p>

表現	<p>○調べたこと、作成したものを校内報告会で全校生徒に伝える(2)</p> <p>○活動を振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでなく、もっと広く伝えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したものを見やすいように、印刷したり、映像で流せたりするようにする。</li> </ul> <p>○<b>思・判・表</b>④ (発表)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事例のポイント③ 実践例3を参照</div>
<p>課題</p> <p>情報整理</p> <p>表現</p>	<p>○課題を設定する。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">課題③ 寄居町のよさを広めよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすれば自分の学校以外にも伝えられるだろう。</li> <li>・以前話をしてもらった、都市計画課の人たちに聞いてもらえるかな。</li> <li>・インタビューしたお店に渡したいね。</li> <li>・駅や公園にもお願いしてみたい。</li> <li>・駅にお願いするとお金がかかるみたい。</li> </ul> <p>○作成したものを手直しする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕たちの作品と分かるように、注釈をいれたほうがいいよね。</li> <li>・顔や名前が分からないように気を付けないよね。</li> </ul> <p>○作成したものを紹介する先を決定する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場の都市計画課に持っていこう。</li> <li>・男衾駅にお願いしに行こう。寄居町内の他の駅にもお願いしてみよう。</li> <li>・地区の掲示板に貼ってもらえるか、区長さんにもお願いしてみよう。</li> </ul> <p>○作成したものを紹介する。(2)</p> <p>○振り返りをする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作成したものがきっかけで、多くの人に寄居町のよさを知ってもらえるのはとても嬉しい。</li> <li>・寄居町内だけでなく、町外の人にも知ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作成したものを、より多くの人に伝えるための手段を考えることができるようにする。</li> <li>・お世話になった人たちに作成物を渡すことも大切な活動であることに気付くことができるようにする。</li> </ul> <p>○<b>知・技</b>③ <b>態</b>② (観察・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お願いする際、どのように体裁が整っていればいいのか確認し、必要に応じて、手直しができるようにする。</li> <li>・お願いする内容も考えることができるようにする。</li> </ul> <p>○<b>知・技</b>② (観察・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を明確にして、相手に伝わるようにすることができるようにする。</li> <li>・お願いが全て聞いてもらえるわけではないことにも伝え、断られた際には自分の気持ちに折り合いをつけられるようにする。</li> <li>・町役場とも連携し、町長と話す機会が得られるのなら、時間を調整する。</li> </ul> <p>○<b>思・判・表</b>④ (観察・作品)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">編P174 指導計画作成の留意事項(4)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結論だけではなく、引き続き行う過程の発表でも良いことを伝えることができるようにする。</li> <li>・まちづくりの学習を通して、地域の特性を生かしたまちづくりと現在の生活との結び付きに気付くことができるようにする。</li> <li>・男衾・寄居町のまちづくりについて考えをまとめ、わかりやすく工夫してまとめることができるようにする。</li> </ul> <p>○<b>態</b>③ <b>思・判・表</b>④ (発表・ノート)</p>

## 7 実践例

【実践例1】学年・学級の枠を外して学習集団を分担し、縦割りの「一斉総合」を立ち上げる。

### 概要・ねらい

本校では、生徒が互いに考え、話し合い、学び合う学習『学び合い』を取り入れた授業を、学校を挙げて取り組んできている。また、全校生徒数が213名（各学年2学級）の小規模校である。これらのことを踏まえ、総合の時間を全校でそろえ、年間35時間の縦割り総合（一斉総合）を立ち上げることにした。ゼミはアンケートを実施し、生徒たちの思いや考えを整理し、次の7つの領域を開設した。

- ①防災・防犯
- ②福祉・ボランティア
- ③歴史・地理
- ④食・特産物
- ⑤観光・広報
- ⑥まちづくり
- ⑦自然・環境

※今回の事例では、「⑥まちづくり」について中心にまとめている。

縦割りによる一斉総合の大まかな流れ		
	生徒	教員
4月～5月	ゼミ開設に向けてのガイダンス	職員会議で一斉総合の共通理解 <b>資料1</b>
	アンケートの実施 <b>資料2</b>	アンケートの結果から、7つのゼミを開設。教員を振り分ける。
6月～7月	縦割りグループ決定・探究活動開始 探究課題の決定・年間計画の作成	
9月～12月	縦割りグループでの探究活動・中間報告	
1月～3月	縦割りグループでの探究活動・最終報告	

### 資料1 学校全体が一丸となって取り組むために、職員会議で使用された会議資料

男倉中学校課題研究 040406	<p>「探究と協働」の視点で生徒一人一人の学びをつくる</p> <p>「探究」と「協働」の学び</p> <p>「総合的な学習の時間」は、小学3年生～中学3年生まで、教育課程上に位置付けられています。子供は元来、知的好奇心が旺盛で、自ら対象（人・もの・こと）と関わろうとします。そして、その関わりから、子供たちは、心が動かされ、「～したい」という言葉を発します。その言葉から始まるのが、「探究」の学びです。子供から生まれた各々の「なぜ？」という問いを大切に、男倉中学校の先生方がもつ一人一人の専門性や持ち味を生かし、「協働」させながら、子供たちがたっぷりと学びひたるそんな時間（一斉総合として年間40時間）を設けていきます。</p> <p>興味や関心の近いグループで探究をすすめていくこともできますし、一つのテーマを探究する「テーマプロジェクト」的なこともできます。はじめは、大まかな領域（探究課題）を示し、グループ分けを行います。そのグループ内で具体的な課題を立てるのは子供自身です。子供たちの学びを後押しするのが、先生方の役目です。予め40時間の計画やゴールの姿を描くと思いますが、それは先生方ご自身の中で留めておいていただき、あくまでも子供たちに計画やゴールを決めさせてください。言い換えるなら、先生方の方で予め立てた計画の中に生徒を当てはめていくのではなく、生徒たち自身が、計画を立て、その活動を見守りながら、支援していくということです。先生方ご自身の日頃の専門教科等における授業の進め方と異なるので、違和感ややりづらさがあるかもしれませんが、ご理解願います。そして、男倉中学校の総合的な学習の時間では、網羅主義的に知識を増やすことを目指したりはしませんが、学習指導要領にない、それを超える内容に取り組んでいただくことは一向に構いません。子供たちの学びが「やってみたい、知りたい、解明したい」などの知的好奇心とつながっていれば、より専門的な知識や技能の習得にチャレンジできるのが総合的な学習の時間の特長です。そして、結果的に子供たちは教科等横断的に学んでいくことができると考えます。子供たちが、総合的な学習の時間を通じて、“深く学ぶ”とか“とことん追究する”“じっくり創る”などを経験します。その経験は、やがて高校や大学へ進学した後や、社会人になった後でも生き続け、生涯学び続ける人として、人生を豊かにするものと信じております。</p>																																																																																												
	<p>時間割の前期・後期制をやめ、通年で行う。 総合は、週2時間×35週＝70時間 ※1年生の総合は50時間です。他に、音10時間、美10時間を設ける。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th></th> </tr> <tr> <th>週</th> <th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>2</th><th>4</th><th>4</th><th>4</th><th>3</th><th>3</th><th>4</th><th>2</th><th></th> </tr> <tr> <th></th> <th colspan="4">11週</th> <th colspan="4">15週</th> <th colspan="4">9週</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2・3学年年総合 (従来型)</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>計 35</td> </tr> <tr> <td>1～3年一斉総合 (ゼミ方式)</td> <td></td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td></td><td></td><td>4</td><td>計 35</td> </tr> <tr> <td>1学年年総合 (従来型)</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>計 15</td> </tr> <tr> <td>1年音楽</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>計 20</td> </tr> </tbody> </table> <p>4月には全体オリエンテーション (講座の内容を決める、割り振りを行う) 5月～2月に一斉総合を入れます。 秋の柏葉祭では、各講座の内容を共有できる中間発表や報告会等の時間を入れます。</p> <p>従来型の総合… 1年は、オリエンテーション、秋から冬にかけては、菅平の自然等に係る探究学習 2年は、職場体験に係る取組、進路決定に向けた探究学習等 3年は、4～7月は修学旅行に係る探究的な活動、2学期以降は、卒業に向けた取組等</p>	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		週	2	3	4	2	4	4	4	3	3	4	2			11週				15週				9週					2・3学年年総合 (従来型)	4	4	4	2	2	2	2	4	3	4	4	計 35	1～3年一斉総合 (ゼミ方式)		2	3	2	6	6	6	6			4	計 35	1学年年総合 (従来型)	2	2	2				2	4	1	2		計 15	1年音楽	2	2	2	2	2	2			2	2	4	計 20
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3																																																																																		
週	2	3	4	2	4	4	4	3	3	4	2																																																																																		
	11週				15週				9週																																																																																				
2・3学年年総合 (従来型)	4	4	4	2	2	2	2	4	3	4	4	計 35																																																																																	
1～3年一斉総合 (ゼミ方式)		2	3	2	6	6	6	6			4	計 35																																																																																	
1学年年総合 (従来型)	2	2	2				2	4	1	2		計 15																																																																																	
1年音楽	2	2	2	2	2	2			2	2	4	計 20																																																																																	

## 資料2 生徒にとってアンケート

<p><b>アンケート</b></p> <p>5月からの総合的な学習の時間（水5・6時間目）では、学年・学級を取り払い、自分が関心のあるゼミナール（ゼミ）で学習をしていきます。今後、ゼミを開講する上での参考としますので、自分の考えや思いなど書いてください。</p> <p>※ゼミナール…関心のある問題について深く研究する授業。あるテーマに関して調査、観察・実験、報告、議論、発表など行います。</p> <p>身近な地域（男衾や寄居）のことで関心のあることやもの世の中（社会）の動きなどで、疑問に思っていること 男衾や寄居のためにやってみたくらい など</p> <p>なぜ、そのことを書いたのですか（理由・根拠）</p> <p>年 組 ( )</p>	<p>まちづくり・観光など</p> <p>なぜ、そのことを書いたのですか（理由・根拠）</p> <p>「寄居町・男衾に行きたい」と思える様な場所になって欲しいから</p>
<p>寄居町の商店街を昭和レトロのような町並みにする。 (デザインなどを考える)</p> <p>なぜ、そのことを書いたのですか（理由・根拠）</p> <p>寄居町の商店街にかまをとりもどしてほしいから。</p>	<p>・ 男衾・寄居にあるかま倉か道。 ・ 男衾・寄居とかま倉の関係</p> <p>なぜ、そのことを書いたのですか（理由・根拠）</p> <p>・ 小六の時に社会で習ったから。 ・ もっと男衾とかま倉の関係を知りたいから。</p> <p>持続可能なまちづくり</p> <p>なぜ、そのことを書いたのですか（理由・根拠）</p> <p>最近、再開発の影響で森林と木が消滅してきて環境が悪くなってきて二酸化炭素が増えてきているのでSDGsにも、た再開発をしてほしい。街の風景に寄居町を眺めて木を減らしたり公園を作ったりして木を増やそう。誰でも寄居町に親近感を感じるようにクワイアの穴やを町にほしい。</p>

### 一斉総合（7つのゼミ）での確認事項

ゼミでの活動は、それぞれのゼミ主体で行うが、以下のことについては7つのゼミ共通で進めていくことを全教職員で確認した。

- ・ 生徒たち一人一人の「なぜ？」や「～したい」を大切にすること
- ・ 地域や実社会の「人・もの・こと」との関わりを大切にすること  
(学ぶプロセスで実社会と関わったり、学んだものを実社会につなげたりしていく)
- ・ 協働を通して、互いをより深く理解していくこと
- ・ 友達や担当の教職員と振り返りを行う中で、学びの軌道修正をしたり、何を学んだか確かめたりしながら次に進んでいくこと

生徒たちの学びが「やってみたい、知りたい、解明したい」などの知的好奇心とつながっていれば、より専門的な知識や技能の習得にチャレンジできるのが中学校での総合的な学習の時間の長所と捉えている。そして、結果的に生徒たちは教科等横断的に学んでいくことができる。生徒たちは、この時間を通じて、「深く学ぶ」とか“とことん追究する”“じっくり創る”などを体験する。その経験は、やがて高校や大学へ進学した後や、社会人になった後でも生き続け、生涯学び続ける人として、人生を豊かにするものと信じている。



①防災・防犯ゼミ



②福祉・ボランティアゼミ



③歴史・地理ゼミ



④食・特産物ゼミ



⑤観光・広報ゼミ



⑦自然・環境ゼミ

## 【実践例2】生徒たちが主体となり、自分たちで探究すべきことを明らかにする。

### 概要・ねらい

自分たちで情報収集していく過程で、自分たちだけでは収集していく情報に限界があると感じる場面がある。そこで、どこの誰がどんな情報を持っているのかを調べ、その方にゲストティーチャーとして来てもらえるように生徒たちが授業を組み立てていく。そして、そこで得られた情報をもとに、今後自分たちが探究していきたいことを話し合い、方向性を明確にする。

### 授業の様子

#### ①寄居町の特徴を調べる。

町民満足度アンケートって  
いうのがあるんだね。

公園の満足度が11%ってかなり  
低いね。なんでだろう？

町のホームページに「都市計画課」  
っていうのがあるけど、まちづくりと関係してそうだね。

その人たちにいろいろと聞いてみたいね。先生  
に連絡とってもらえるか聞いてみよう。

#### ②『都市計画課・中心市街地活性化推進室』の方に来ていただき、寄居町の現状等について話を聞く。



寄居町が管理している公園は13  
カ所です。皆さんはどんな公園に  
なら行きたくなりますか？

空き家の活用について、町はどん  
な計画を立てていますか？



寄居町を楽しむことがまちづ  
くりにつながります。

寄居町のことがいろいろと知  
ることができました。知らない  
ことが多かったので、広め  
ていきたいと思いました。

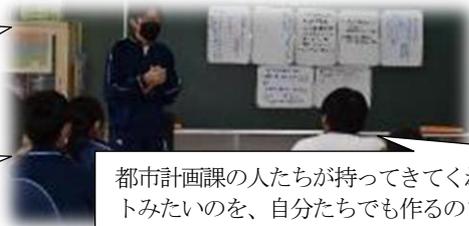


#### ③寄居町のよさを広めるために、自分たちができることを考えよう。



町のよさを広める  
ためにはどんな手  
段がありますか？

ポスターをつくる  
のはどうかな？



都市計画課の人たちが持ってきてくれたパンフレッ  
トみたいのを、自分たちでも作るのも面白そう。

<振り返り>  
① 寄居を有名、活性化させる手段はたくさんある。  
寄居はまだ伸びる！  
② 共同で雀宮公園について、自然、どのような場所  
ポスターにする予定。  
ネットで調べたところ、秋にもみじが綺麗らしい。

振り返り  
1. 学んだこと  
・ 意外に命を失ったことある(ω)  
2. この町の活動の見過し、イメージ  
・ ポスターの完成までの間に、情報収集共有も必要。  
・ プラスに伝える。それ、揃わなくていいけど、  
できればいい。

### 【生徒の変容】

様々な情報を集めていく過程の中で、「まちづくりに詳しい人に話を聞きたい」という意見が出てきた。町のホームページから『都市計画課』という課があることを知り、教師が橋渡し役となり、ゲストティーチャーとしてお招きすることができた。ゲストティーチャーの話の中で出てきた、「寄居町を楽しむことがまちづくりにつながる」という言葉から、「町のよさを知ること・広めること」が自分たちにもできるまちづくりだと考えることができた。はじめは、「自分たちにもできるまちづくりなんてあるのか」と不安な様子だったが、自分たちで解決の糸口を見つけ、方向性を見いだしたことにより、その後の活動も生徒主体のより探究的な活動に変化していった。

**【実践例3】 校内報告会により各ゼミの内容を知り、探究を深める。**

**概要・ねらい**

7つのゼミで活動を行っている関係上、他のゼミの取組を知る機会が少ない。そこで、今まで取り組んできたことなどを校内報告会として発表できる場を設定する。発表の方法も、掲示物を作成したり、プレゼンソフト (PowerPoint 等) を活用したりと、各ゼミで考えるようにする。他のゼミの取組を知ることによって今後の活動の参考にし、より探究的な活動へとつなげていく。



**①防災・防犯 ～寄居町を安心・安全で住みやすい町にするための取組とそれに関わる人々～**

**【単元目標】**  
寄居町における安心・安全なまちづくりに関する探究活動を通して、地域の特性に気付き、防災・防犯の意味について考えとともに、今後の生活に生かそうとする。



災害が起きたらどうする？

水がないと困るよね



【警察署訪問】

<ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードマップ</li> <li>防災・防犯紹介</li> <li>家庭防災・詐欺</li> <li>避難グッズ</li> <li>防災食・避難所マナー</li> <li>通学路における危険箇所</li> </ul>	<p>ハザードマップ 寄居町全体と男衆の治安情報をマップ上に表示</p>
<p>防災・防犯マナー 全校生徒にアンケートを実施</p>	<p>通学路における危険箇所 問題点 ・陸路。自転車を通る時に大きな衝撃がある歩みではつまづきそうになる</p> <p>危険箇所をポイントで示す</p>

【生徒作成の発表資料 (一部)】

**【実践のまとめ】**

避難所や防災食、ハザードマップなど調査する活動を行った。警察署では、詐欺被害の話聞き、対策などを話し合った。防災・防犯に対する考え方の視野を広げることができた。今後は、家で作れる防災グッズなどを考えたいという意見も出てきた。

**②福祉・ボランティア ～誰にとっても住みよい福祉・クリーンな町と未来の寄居～**

**【単元目標】**  
身近な福祉やボランティアに関する探究活動や関係する人との交流活動を通して、地域の現状を知り、より暮らしやすい寄居町について考えとともに、未来の生活に生かそうとする。



幼稚園に行って聞いてみたいな

私たちができる福祉って何があるだろう



【保育所訪問】

<p>テーマ 「必要な場所に、必要な手を…」</p>	<p>チーム チーム保育園 Nursing お年寄りグループ Dと幼稚園のポロネーゼ 男衆キッズクラブ グリーンアース</p>
<p>チーム保育園・Nursing</p>	<p>今後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男衆保育所にボランティアをし、メダルを渡す。</li> <li>男衆の里に色紙を届ける。</li> <li>若竹幼稚園にボランティアをし、プレゼントを渡す。</li> <li>男衆小学校に行って、ボランティアをしに行く。</li> <li>男衆自然公園で、落ち葉拾いをする。</li> </ul>

【生徒作成の発表資料 (一部)】

**【実践のまとめ】**

保育士や幼稚園教諭へのサポート、地域の公園への美化活動など、自分たちができると話し合い、その後、具体的な活動を行った。園児との触れ合いを楽しむだけでなく、自分の進路キャリアについて考えることができた生徒もいた。今後は、手話について学びたいという意見も出てきた。

### ③歴史・地理 ～歴史と特産物・地域に関わる人々～

**【単元目標】**  
 男衾や寄居町における歴史的・地理的特徴に関する調査活動・探究活動を通して、男衾の地域や生活の特徴に気付き、地域の活かし方を考えるとともに、地域に誇りを持ち、自らの生活や行動に生かそうとする。

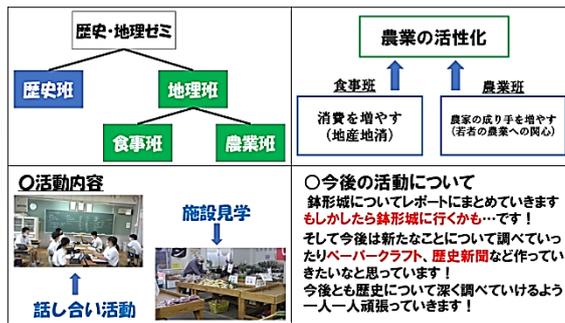


寄居って何があるの？

土地の広さを活かせないかな



【歴史館館長さんの特別授業】



【生徒作成の発表資料（一部）】

#### 【実践のまとめ】

最初は「寄居には何もない」と言っていた生徒たちも、鉢形城歴史館などの歴史の調査や、農家の協力を得て行った農業見学を通して、「自分たちが知らなかっただけ」と気付くことができました。今後は、自分たちが知ったことを周りの人に広めていく活動をしたいという意見も出てきた。

### ④食・特産物 ～特産物と町の発展～

**【単元目標】**  
 男衾や寄居町の特産物についての調査・探究活動を通して、地域や特産物の特徴に気付き、地域と特産物との関連について考えるとともに、地域の活性化に貢献しようとする。



寄居は風布のミカンが有名だね

ミカンを使った料理は何かあるかな



【自分たちが考えたメニューで調理実習】



【生徒作成の発表資料（一部）】

#### 【実践のまとめ】

寄居町の特産物を使ってメニューを考える活動を通して、味や見た目、コストパフォーマンスなど、メニュー開発の難しさを改めて考えることができた。今後は、町の名産である「とろとろナス」を使ったメニューや、なぜナスが名産となったのかなどを考えていきたいという意見も出てきた。

### ⑤観光・広報 ～生活の豊かさと自然、寄居の魅力発信～

**【単元目標】**  
 男衾や寄居町における広報に関する調査活動・探究活動を通して、地域や生活の特徴に気付き、地域の活かし方を考えるとともに、自らの生活や行動に生かそうとする。



キャンプってどんな感じなのかな？

寄居にキャンプ場ができたんだって



【火起こし体験】



【生徒作成の発表資料（一部）】

#### 【実践のまとめ】

町に新しくキャンプ施設ができたことから、キャンプの魅力について探究した。様々な体験活動を通して、「不便を楽しむ」ことがキャンプの魅力の一つであると気付いた生徒も多い。今後は、このことを伝えていく活動をしたいという意見も出てきた。

⑥まちづくり ～寄居町の再開発から学ぶまちづくりとそこに暮らす人々～

**【単元目標】**  
 男衾や寄居町のまちづくりに関する探究活動を通して、地域の特性に気づき、地域の発展について考えるとともに、地域の活性化に貢献しようとする。



寄居の駅前はどう？  
 ここに僕たちのポスターとか置いてもらえるかな



【商店街でインタビュー】



【生徒作成の発表資料（一部）】

**【実践のまとめ】**  
 最初はまちづくりとは何をすればいいのかわからなかった生徒も、役場の人や地域の人との交流をもつことで、「自分たちもまちづくりに参画できる」と気付くことができた。今後は、寄居町以外の人たちにも「寄居町のよさ」を知ってもらうための活動をしていきたいという意見も出てきた。

⑦自然・環境 ～身近にある自然環境と豊かな生態系の創造～

**【単元目標】**  
 男衾や寄居町における自然環境の調査活動・探究活動を通して、生態系調査に必要な技能を身に付け、身近な生態系の特徴に気づき、豊かな生態系が存在する理由を考え、維持・改善する方策を模索し、積極的に行動しようとする。



小学校にあったビオトープは使えないかな？



【生態調査】



【生徒作成の発表資料（一部）】

**【実践のまとめ】**  
 長年放置されていたビオトープを調査したところ、それでも様々な生物がいることを発見することができた。ビオトープの再生と並行しながら、どんな生物がいるのかレポートにまとめるなどの活動ができた。今後は、これらの生物の図鑑を作成し、他の生徒も見られるようにしたいという意見も出てきた。

**【生徒の変容】**  
 それぞれのゼミが主体性をもって探究してきた内容や経過などについて、校内報告会を通じて、互いに共有することは、大変意味のあることとなった。各ゼミが共通としている「ふるさとである男衾地区や寄居町」に係る「人・もの・こと」についての探究が、アプローチは異なっても、方向性や最終的なゴールは同じということを再認識することができた。また、異学年で取り組むことで、下級生は、上級生の経験知、課題に対する考え方、社会的スキルなど、目の前で感じながら、吸収しようとする姿が見られた。上級生も下級生を前により質の高い探究を進めようとして取り組んでいて、相乗効果が見られた。